

2023.12.22 終業式

2023 年も残すところあとわずかになりました。

私にとって 2023 年の最大のニュースの一つが、阪神タイガースが 38 年ぶりに日本一になったことです。私が大学 4 年生の時にタイガースの日本一を見ました。阪神タイガースが、38 年もの長い間優勝できなかった理由はいろいろあると思います。選手の技術や意識、監督、フロント、金銭面、それこそ数え上げたらきりが無いと思います。逆に、優勝できた理由、勝因もそれこそいろいろあると思いますが、私が思うには、最大の理由は監督です。選手を生かすも殺すも監督次第というのは言い過ぎかもしれませんが、岡田監督の手腕が大きな優勝の要因であったことは間違いないと思います。今までの監督にはなかった岡田監督ならではの采配というか、優勝に導いた大きな理由の一つに、目標が明確であったことと、そのために各選手に各自がやるべきことと計画的な各自の動きをしっかりと考えさせたということがあると感じています。

岡田監督は、自分の優勝を逃した苦い経験から、優勝という言葉が封印し、流行語大賞にも選ばれた ARE という言葉でチームやファンをまとめ上げました。ほとんどが優勝経験が無い、20 代という若い選手が気負うことなく、ノリと勢いで優勝という大きな目標に向かっていったのは、ARE という言葉を巧みに使った岡田監督のすごさだと思います。

さらに、優勝の経験が無い若い選手に ARE を達成するための毎日の試合の中でのやるべきことと、計画を持たせるなどの意識改革を図ったのも凄いと思います。ファーストボールをヒットと同じ価値と認めることで出塁率を飛躍的に上げたり、左のバッターだけで良いからしっかり押さえる、ホームランは打てなくてもヒットや進塁打で繋ぐなど、特に優勝マジックが出てからの 11 連勝中は、自分の役割をしっかりと理解した選手の発表会のような、プレッシャーどころか楽しんでるとしか思えないチームだったように思います。

明日からの冬休み、しっかり冬休みを後悔しないで過ごしてもらうために、大切なことを、阪神タイガースにちなんでお話ししたいと思います。

みなさんも、遅くとも今日、みなさんなりのアレを設定してほしいと思います。アレの内容は、冬休み明けの課題考査で 20 番以内とか、部活の大会で県大会に出るとか、何でも良いです。冬休み、冬休み明けの大きな目標、そのための毎日の小さな目標と計画を立てましょう。目標、計画がなければ、無意味な冬休みに終わってしまいます。この冬休みに何をどれだけしなければならぬか、冬休み後には自分はどうなっていたいのかしっかりとイメージしてください。単に勉強や部活を頑張るとか、張り切るとかではダメです。学習なら、どの教科を一日どれくらい学習するとか、問題集を何冊こなすとか、素振りを 1 日 300 回とか、冬休み中に 100 キロ走るとか、数値目標や具体的な目標を持ち、そのための無理のない計画を立ててください。この冬休み、自分は何をしたんだろうと後悔しないためにもできるだけ具体的な目標が必要だと思います。

自分だけのアレとそれを実現するための日々の目標と計画を立てることをお願いします。

話は変わりますが、本校は、令和9年3月に三木北高校として40年以上という長い歴史に幕を下ろします。なくなるというのではなく、本校と三木東高校、吉川高校が発展的統合をします。昨日夕刻以降のニュース・新聞等で見聞きした生徒もいると思いますが、新たに設置される高校の校名（仮称）を含む「実施計画」が、県教育委員会から発表されたので、それに関する情報をみなさんに伝えます。

新設校の校名（仮称）は、「県立三木総合高等学校」で、設置学科は総合学科にきまりました。その他、実施計画では、スクール・ミッション及びスクール・ポリシー、教育活動の特色等についても公表されています。しかし、みなさんや、来年度入学してくる新入生が、転校するわけでも、途中から在籍している三木北高校の名称が変わるわけではないので安心してください。現在在籍している生徒の皆さんに関しては、卒業まで、現在と同じこの三木北高校という教育環境が維持されるので安心してほしいと思います。先ほどもいいましたが、来年度も本校に新入生が入学してきます。生徒の皆さんには、三木北高校の生徒として、充実した高校生活を送り、誇りを持って卒業していけるように毎日をこの三木北高校で頑張ってもらいたいと思います。また、本校の伝統や特色が、統合によって誕生する新設校に、目に見える形で引き継いでいけるよう、私たち教職員はさらに頑張っ取り組んでいきたいと考えています。「最後まで、より三木北らしく」のキャッチフレーズを胸に刻んで、本校の教職員が一丸となって、これからの皆さんの高校生活をサポートしていくので、引き続き、安心して勉強や部活動などに取り組んでください。もし、不安なことがあれば、担任や学年の先生など、話しやすい先生に相談してもらいたい。

では充実した冬休みを過ごしてください。

1月9日に元気なみなさんと再会できることを願っています。

以上